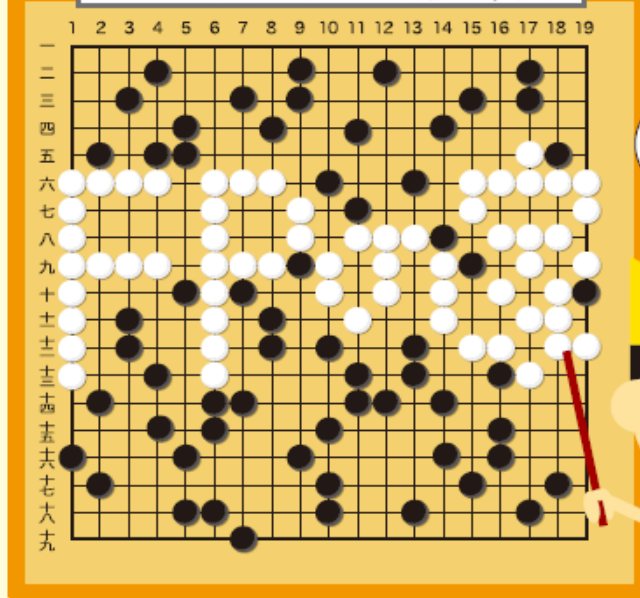


冬の

なんでも相談会

パンイチくん囲碁講座



今年はマイホームの
布石を打ちましょう!



FPの家の申し子
パンイチくん



↑この「のぼり」が
目印です。

一
目
を
置
く
工
務
店



イベント開催期間

2024.1/13^土~3/24^日

「住まいづくり・・・いったい何から始めたらいいの?という方や
「FPの家」をもっと知りたいという方、ぜひお気軽にご参加ください!
「FPの家グループ」の認定ビルダーが住まいづくりの疑問やお悩み
にお答えするイベントをそれぞれの地域で期間内に開催します。
「FPの家」を実際に見て、聞いて、触れて、きっとその品質の確かさを
ご体感いただけるはず。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

「FPの家」あなたの地元の認定ビルダー

住まいづくりの疑問やお悩みにお答えするイベントを開催します。
「住まいづくり・・・、いったい何から始めたらいいの?」という方や
「FPの家」をもっと知りたいという方、ぜひお気軽にご連絡ください!

藤川 建設

藤川建設株式会社

群馬県渋川市八木原920-1

TEL 0279-24-2388

HP fujikawa-kensetsu.com

HP

mail



業界トップクラス!! 「FPの家」を支えるFPウレタン断熱パネルがさらに進化
熱伝導率0.019W/m・K、一步先へ進む断熱材へ!

FPウレタン断熱パネル
 (縦向き入り)



断熱性能大幅UP

新基準の断熱等級を満たすために

ZEHへの対応(断熱等級5)

総産量のZEHに必要とされる断熱性能です。2025年には省エネ基準適合が新築義務化の対象となります。

断熱等級6・7への対応

昨年の10月に新設された等級6・7では、充填断熱だけでは基準を満たすことができない場合は付加断熱が必要となりますが、FPパネルなら高いレベルで基本性能値をしっかりと確保することができます。

製品仕様	従来製品 (水取型)	HFO化製品*
熱抵抗値 (m ² K/W) [厚さ×熱伝導率]	4.3	5.5
熱伝導率 (W/m・K)	0.024	0.019
厚さ (mm)	105	105

*JIS A9521:2022 硬質ウレタンフォーム断熱材3種2号に相当



もっと環境にやさしく

さらに性能劣化を抑えた次世代の品質へ

HFOとはハイフロフルオロオレフィン(HydroFluoroOlefin)という名称で、化学的に安定・不燃性、非毒性、不燃性または難燃性の可能性があり、地球温暖化係数(GWP)が高いHFO245fa(代替フロン)などの排出規制のため、代替フロンからの代替品として開発されたものです。



環境にやさしい



非毒性



不燃性

「FPの家」はいつでも、どこでも快適な高性能住宅です。

高い断熱性と気密性

夏、外の熱気を寄せつけません。冬、室内の暖気を外に逃がしません。その秘密は、冷気や熱を高いレベルで通さない硬質ウレタンでできたFPパネルを使っているから。一般的に使われている繊維系断熱材にくらべ、2倍以上の断熱性能を有しているうえに、パネルと柱や梁の隙間、パネルと家の隙間、パイプスペースの隙間を専用の気密テープでしっかり塞ぎ、さらにコンセントボックスの裏側にウレタンを吹き付けるなど、徹底的に気密性を高めています。年中どこでも快適温度を保つ。「FPの家」は基本性能に優れた住まいです。



優れた耐震性

「FPの家」は、ウレタン断熱パネルで囲まれた住まいです。ウレタンと固くとスポンジやクッションを連想するかもしれませんが、FPパネルはそんなイメージとは正反対。工場で一貫生産される密度の高いものなので非常に頑丈です。この高性能なパネルを柱の間に組み込むことで堅牢な面構造となり、揺れの揺れに強い力を発揮。耐震実験では、阪神淡路大震災、もしくはそれ以上の規模でもほとんど影響のない結果が出ています。地震国の住まいにふさわしく、様々な探求を重ねた技術を反映した工法を採用しているのが「FPの家」です。



驚きの耐水性と耐火性

FPパネルは例えるなら同じウレタン素材でできた水に浮くサーフボードのようなものです。そのため、過去いくつかの地区で集中豪雨によって床下浸水の被害に遭いましたが、パネル内の浸水はもちろん、形状・性能に変化がなく、「家屋修復の際も早期に復旧できた」「取り替えずに済んだ」という喜びの声が届けられています。また、難燃剤を混入しているため、燃え広がりにくく、水にも火にも強い特長もあって安全で安心な住まいをご提供しています。



サイフに優しい省エネ性

節約や省エネは大切ですが、我慢を重ねずかた心地よい生活を犠牲にしては意味がありません。涼しきや暖かさを保つことができる基本性能が高い家なら、クーラーや暖房機、ヒーターやストーブを頻りに使わずに済み、冷暖房費を抑えられます。建築費が少し高くなるとしても20年、30年と長く住み続けるので、損得勘定はトータルで判断すべき。「FPの家」なら、我慢することなく年中快適で省エネ効果が高い生活を送ることが可能となります。

